

夢と希望をもって、高い理想を掲げて、前を向いて歩いていこう

あと一週間もすれば4月。2年生の皆さんは最上級生で義務教育最終学年となり、1年生の皆さんは中学校二年目となり後輩となる新入生も迎えます。

さて、今年度一年間を振り返って、どうでしたか。楽しく充実していた人、人間関係で悩むことが多かった人、何となくすぎてしまったという人等、さまざまでしょう。つらいことが多かったとしても、皆さんが経験したすべてがあるから人としての成長があるのです。プラスに考えましょう。

コロナ禍となり、これまでのように羽を伸ばすことはできない一年でしたが、限られた中でさまざまな活動を創りあげてきた皆さんのがんばりをたたえたいと思います。



2年生美術作品「海の中の世界」



2年生修学旅行・進路説明会

修学旅行説明会では、実行委員が中心となって、修学旅行での平和学習や自主研修について、クイズや寸劇もしながら楽しく説明をしました。

平和学習を通して学んだことを大切にしていこうと令和を平和な時代にしていこうと考え、「HEIWA な REIWA すばしらか ~カステラみたいに甘い思ひ出」をテーマに設定しました。

修学旅行を、自分たちの力で楽しく学びの多いものとしようという意気込みを感じました。

1年生学級委員会では、キラリ☆祭で、「コロナに負けるな」という動画を発表しましたが、この度、その第2弾として「劇場版ウィズコロナ2」を作成したので、学年全員が視聴しました。

動画は30分近くの力作で、「ファイブマスク NEO(ネオ)」が変異株などのウィルスと戦うというものです。研究者がワクチンの開発を行ったり、医療関係者が最前線で治療にあたりたりしている中、不安はあるけれど、ひとりでなく皆で励まし合ってがんばっていかうとのメッセージを送りました。



1年生学級委員会制作「ウィズコロナ2」上映会

さて、3月に入り、1年生で道徳の授業(授業の様子は裏面に掲載)をしました。その授業では、夏でも冬でも青々とした芝でサッカー選手等にプレーをしてもらいたいという高い理想をもって努力を続けた国立競技場の元グラウンドキーパーのお話が題材でした。主人公は失敗を乗り越え、選手のためにとの思いで高い理想を実現しました。

是非皆さんも、夢と希望をもって、高い理想を掲げて、前を向いて歩いていってほしいと思います。そうすれば、周りの人にも、もちろん自分にも幸せをもたらすに違いありません。

理想を実現するために、鍵(かぎ)となるのは何だろうか

～1年生道德の授業「緑のじゅうたん」から～

自分のことと重ね合わせながら、理想を実現するためには、何が大切なのか考えました。よく考えて発表する姿や、意見交流を通して班員の意見に共感したり新たな発見をしたりする姿が見られました。

～1年生生徒のふいかえいより～

- ★(主人公が)言い訳をせずに、希望が見えない時期もあきらめず挑戦をし続けた姿が心に残りました。
- ★今までは自分ができそうだなと思ったことしかやらなかったが、これからはもっと挑戦する勇気がでた。
- ★失敗を恥ずかしがるのではなく、失敗をおそれていることが恥ずかしいとわかった。
- ★僕はよく自分のことしか考えていないけど、他の人にも目を向けると理想にも近づいていくことがわかりました。



プロの技術と経験に学ぶ夢プロジェクト

興味のある部活動に夢をもって取り組み、力を伸ばすきっかけにしてほしいとの思いから、いくつかの部活動において、それぞれの分野でプロとして活動していた(している)方等を招いて、特別レッスンを開催してもらいました。

12月24日、サッカー部員が、元日本代表プロサッカー選手の松山吉之さんから、技術指導を受けました。また、「常に目の前にあることを全力で取り組むこと」や「継続していくこと」の大切さを教えていただきました。



1月12日、滋賀レイクスターズの選手と育成コーチの方に来ていただき、バスケットボール部員が技術指導を受けました。また、「いろいろな人に支えられてバスケットボールができていることに感謝をして、がんばってほしい。」と激励を受けました。

2月28日、滋賀県のプロ野球チームであるオセアン滋賀ブラックスの選手から、野球部員が技術指導を受けました。

特に、ポジション別できめ細かく指導していただいたことから、部員たちにとっては自分で気づかないところが多くあり、これから意識してがんばっていきたいとはりきっていました。



3月10日、滋賀県を拠点に全国的な活動をされている風景画家であるブライアン・ウィリアムズさんをお招きし、美術部員に絵画の魅力等をお話しいただいたり、実演を通して技術指導をしていただいたりしました。

「いい絵を描こうとするのではなく、楽しみながら描くことが、うまくなる一番の近道である。」とお話しいただきました。また、繰り返し強調されていた「はまる」という言葉が印象的で、がんばれと言われてするのはあまり意味がないと改めて感じました。